令和２年度　愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎･専門別	単位数	選択･必修別	開講年次･時期
24301	薬理学 Pharmacology	野村　裕子		専門	2	選択	2年前期

科目の概要

栄養士業務及び医事業務に必要であるばかりでなく、私たちの身近にある「薬」について学び、薬物の生体への作用、薬理効果、代謝経路、副作用など、薬物治療の基礎知識について理解する。この授業では、客観的な証拠に基づいて科学的にものごとの判断ができる能力を身につける。

学修内容	到達目標
① 投与された薬物の生体内運命と薬効 ② 医薬品の法律による規制 ③ 各医薬品の作用機序、薬理効果、副作用 ④ 薬理学専門用語 ⑤ 薬物の知識	① 薬の作用点の薬物受容体を理解し説明できる ② 医薬品に関する法律を理解し説明できる ③ 薬の作用機序、薬理効果、副作用を理解し説明できる ④ 薬理学専門用語を理解し説明できる ⑤ 必要な薬物の知識を身に付けることができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、講義資料や参考書を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	設定した目標達成に向かって粘り強く取り組み続ける事ができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	新しい考え方や解決策を作り出すことができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を具体的にわかりやすく伝えることができる。
	傾聴力	相手の意見を正確に理解することができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：講義資料の配布
参考文献：「シンプル薬理学」 野村隆英ら著（南江堂）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「生理学」、「解剖学」
資格との関連：医療管理秘書士、医事管理士

学修上の助言	受講生とのルール
配布する講義資料に授業中加筆、印を付け自分のノートを作る(赤色鉛筆を持参)。メモページはネットや図書館利用での知識を加えて活用する。講義中に重要と説明された箇所は復習し、知識を身に付ける。	配布された講義資料は忘れず持ってくること。自分のノートを作成するので無くさないようにする。講義中の私語は他の学生に迷惑なので慎む。スマートフォンは授業で使用する時以外は電源を切っておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験	70	①	✔	・以下の内容を理解しているか評価する。 ① 医薬品に関する法律を理解できていること。 ② 薬の作用機序、生体内運命などの総論と各薬物の薬理効果、副作用を理解できていること。 ③ 薬理学専門用語を理解できていること。 ・授業で学習した内容の理解度を確認する。
				②	✔	
				③	✔	
				④	✔	
				⑤	✔	
	平常評価	小テスト	20	①	✔	・7回の小テストの点数を平均して判定する。 ① 授業での重要箇所の理解度を確認する。 ② 穴埋め問題と選択問題を中心に出題する。 ・出題範囲は各時点までの授業で学習した内容とする。
				②	✔	
				③	✔	
				④	✔	
				⑤		
		レポート		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
学修行動		社会人基礎力(学修態度)	10	①	✔	主体性: 課題をするのに、講義資料・文献を使って自己学修をすることができる。 実行力：設定した目標達成に向かって粘り強く取り組み続ける事ができる。 課題発見力: 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 創造力：新しい考え方や解決策を作り出すことができる。 発信力：自分の意見を具体的にわかりやすく伝えることができる。 傾聴力：相手の意見を正確に理解することができる。 規律性: 学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届けを提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✔	
				③	✔	
				④	✔	
				⑤	✔	
総合評価 割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
薬物の作用機序を的確に説明できること。（①） 薬物の薬理効果、副作用を的確に説明できること。（②） S（秀）は①と②ができること。A（優）は①又は②のどちらかができること。	主な薬物の薬理効果、副作用を説明できること。（①） 薬理学専門用語を説明できること。（②） B（良）は①と②ができること。C（可）は①又は②のどちらかができること。

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習･復習	時間 (分)	能力 名
1週 ／	総論：薬理学とは何か、薬と法律、薬理作用と作用機序①	講義 インターネットでの検索（携帯可） 授業中での質問（口頭で答えた後フィードバックする）	医薬品に関する法律を理解し、説明することができる。	復習)ドラッグストアに行き医薬品表示の確認。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2週 ／	総論：薬理作用と作用機序②、薬の生体内運命と薬効	講義 インターネットで検索（携帯可） 授業中での質問（口頭で答えた後フィードバックする）	薬の作用機序、薬の作用点の薬物受容体を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
3週 ／	総論：薬物相互作用、薬物治療に影響する因子、新薬の開発 末梢神経作用薬：自律神経系の基礎知識①	講義 インターネットで検索（携帯可） 授業中での質問（口頭で答えた後、フィードバックする）	薬物相互作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
4週 ／	末梢神経作用薬：自律神経系の基礎知識②、コリン作動薬	講義 授業の開始時に、小テスト（復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5週 ／	末梢神経作用薬：コリン遮断薬、アドレナリン作動薬	講義 授業中での質問（口頭で答えた後、フィードバックする	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
6週 ／	末梢神経作用薬：アドレナリン遮断薬、自律神経節作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬	講義 授業の開始時に、小テスト（復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7週 ／	中枢神経作用薬：各種全身麻酔薬、鎮静睡眠薬、麻薬性鎮痛薬	講義 授業の開始時に、小テスト（復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。ＶＶ	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8週 ／	中枢神経作用薬：抗てんかん薬、向精神薬、抗パーキンソン病薬	講義 授業中での質問（口頭で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	心・血管系作用薬：心不全治療薬、狭心症治療薬	講義 授業の開始時に、小テスト（復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10 週 /	心・血管系作用薬：抗不整脈薬、降圧薬、脂質異常症治療薬	講義 授業中での質問（口頭で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	抗血栓治療薬 解熱鎮痛薬と抗炎症薬	講義 授業の開始時に、小テスト（復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12 週 /	免疫調節薬と免疫療法薬 糖尿病治療薬 消毒薬	講義 インターネットで検索（携帯可） 授業中での質問（口頭で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
13 週 /	抗感染症薬：抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬	講義 授業の開始時に、小テスト（復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
14 週 /	抗悪性腫瘍薬 気管支喘息治療薬 消化性潰瘍治療薬	講義 授業の開始時に、小テスト（復習内容の質問に記述で答えた後、フィードバックする）	薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 重要と説明された箇所を復習する。 (予習)講義予定の資料を予習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15 週 /	授業の統括 （質疑応答に参加し授業内容を理解する）	講義 授業中での質問（質問に記述で答えた後、フィードバックする）	専門用語, 薬物の薬理効果、副作用を理解し、説明することができる。	(復習) 自分で解答できなかった問題を復習する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名:主体性　働きかけ力　実行力　課題発見力　計画力　創造力　発信力　傾聴力　柔軟性　情況把握力　規律性　ストレスコントロール力